

単元名 総合芸術に親しもう1【旧】

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 音楽の特徴と、物語の進行や登場人物の心情、舞台の表現との関わりについて理解することができる。
- (2) 音楽の特徴と、物語の進行や登場人物の心情、舞台の表現との関わりについての知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。
- (3) 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

標準的な展開例

12260205_001

【教材名】オペラ「アイダ」から第2幕第2場 くらしとともにあるさまざまな音楽 (下 P. 28～P. 32)

(下 P.

【準備等】鑑賞映像、タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 オペラ「アイダ」から第2幕第2場を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○オペラについて知る。 ★オペラ「アイダ」(抜粋)を味わおう。 ○第2幕第2場を鑑賞し、感想を話し合う。 <p>2～3 オペラの特徴的な表現やよさについて調べ学習をし、レポートを発表する。</p> <p>★オペラについて関心ある音楽の要素からテーマを決め、調べたり鑑賞したりしてレポートを作成しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書や資料を使って調べる。 <p>○テーマに応じた観点に絞って「アイダ」を鑑賞し、レポートにまとめ、発表する。</p> <p>○調べた特徴や表現のすばらしさをもとに「アイダ」を味わう。</p> <p>4 さまざまな総合芸術の音楽表現を味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ジンジュ(京劇)、ミュージカル、バレエを鑑賞する。 ★さまざまな総合芸術を味わおう。 ○それぞれの音楽表現の特徴について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オペラが総合芸術であることを理解させる。 ・物語のあらすじや、主な登場人物を理解させてから鑑賞させる。 【評】オペラ「アイダ」の音楽の特徴と、物語の進行や登場人物の心情、舞台の表現との関わりについて理解する活動を通して、「知識」を評価する。 ・「オペラ」に関して各自テーマを決めさせ、レポートを作成させる。 ・登場人物やオーケストラ、舞台の豊かな表現を知覚させる。 ・「オペラ」に関する諸要素から関心あるテーマを各自に決めさせ、レポートを作成させる。 ・登場人物やオーケストラ、舞台の豊かな表現を知覚させる。 【評】関心をもった要素に着目して、オペラについて調べたり、発表したりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・それぞれの総合芸術が、その国の人々のくらしとともにあることや、音楽の多様性、音楽と他の芸術との関わりについても理解させる 【評】それぞれの鑑賞活動や、話し合い活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。」を評価する。

【 備 考 】

「アイダ」では、物語の内容を理解させ、音楽と舞台との関わりに着目して鑑賞させる。オペラにおける音楽の役割や効果、物語の進行に応じた音楽と舞台との関わりなどを理解し、総合芸術の豊かな表現を味わわせて鑑賞させる。「くらしとともにあるさまざまな音楽」では、ジンジュ(京劇)、ミュージカル、バレエを鑑賞させる。これら総合芸術の鑑賞活動を通して、音楽と他の芸術との関わりや、音楽の多様性への理解を深めさせる。

【共通事項】音色・リズム・速度・旋律・テクスチャ・強弱